



生活スタイルと社会意識に関するアンケート

モニターの皆様へのお願い

本アンケートには、一般に公開していない情報が含まれる場合があります。
アンケート内で知り得た情報について、決して第三者に口外しないよう、お願いします。

「第三者への口外」に含まれる例

- 口頭、電話、メール等で友人・知人に話す
- SNSやブログ、掲示板等へ書き込む
- その他、手段を問わず、情報を第三者に伝達する行為

注意事項

- 複数のアンケート画面を同時に開くと、正常に回答できません。
アンケートはひとつずつ、回答ください。
- アンケートへの回答は、「動作環境」に記載の環境からお願いします。
- 本アンケートは、回答を中断してから1時間以内は中断した質問から再開可能です。
(システム緊急対応等により再開できない場合もありますので、予めご了承ください。)
- 回答結果は、当社の「個人情報保護方針」に基づいて取り扱います。

上記の内容をご確認いただき、同意してご協力いただける場合のみ、「同意し、アンケート開始」を押してアンケートを開始してください。

同意し、アンケート開始

SC1 必須 あなたは、すでに学校を卒業しましたか。
それとも、現在学校に通っていますか。

- 1.すでに学校を卒業した
- 2.現在、学校に通っている

次へ

SC2 必須 あなたが最後に卒業した学校は次のうちどれでしょうか。

- 1.中学
- 2.高校
- 3.専修学校、専門学校
- 4.短期大学、高専（5年制の高等専門学校）
- 5.大学
- 6.大学院

次へ

SC3 必須 あなたは現在、収入を伴う仕事に就いていますか。

- 1.就いている（有職）
- 2.就いていない（無職、家事に専念など）

次へ

SC4 あなたは現在、どのような形で働いていますか。
必須 お仕事を2つ以上お持ちの場合は、主な仕事を1つだけ思い浮かべてください。

- 1. 自営業主
- 2. 家族従業員（家業としての自営業を手伝っている家族）
- 3. 会社・法人などの経営者・役員
- 4. 常時雇用の従業者（正社員・正職員）
- 5. パートタイム・アルバイト・臨時雇用・契約社員の従業者
- 6. 派遣社員
- 7. その他：

次へ

「生活スタイルと社会意識に関する調査」ご協力をお願い

奈良女子大学人文科学系 教授 林拓也

本調査は、20歳から59歳の方を対象として実施しております。
みなさまがふだん、どのような生活を送っているか、またどのようなお考えをもっているかについてお尋ねするものです。

この調査を行うにあたっては、日本学術振興会の科学研究補助金（基盤研究(C) 研究課題番号16K04032）の助成を受けています。

ご回答の内容は、数値化された統計データとして集計・分析を行いますので、個人が特定される情報が公表されることはありません。また、回答データは、学術研究を目的とした分析でのみ利用しますので、それ以外の目的で利用することはできません。

ご回答は任意ですが、調査の趣旨をご理解いただいた上で、ぜひとも協力くださいますようお願いいたします。

次へ

Q1 あなたは、最近の5年くらいの間に、次にあげるような活動をしたことがありますか。

必須 ※この設問は、それぞれ横方向（⇒）にお答えください。

		1. ある	2. ない
			
1. クラシック音楽のコンサートへ行く	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 美術館や博物館に行く	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. カラオケに行く	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. バチンコ・競馬・競輪・競艇・マージャンをする	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 社会的活動に参加する （ボランティア活動、募金活動、署名運動など）	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. スポーツ新聞や女性週刊誌を読む	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 海外旅行に行く	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 小説・エッセー・歴史書・教養書を読む	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

Q2 必須 人々は、ある集団のことを、自分の属している集団とは異なる「遠い世界」のこととして感じたり、逆に、自分の集団と「近い」集団と感じたりします。以下では、左と右に分かれた職業ペア (AとB) がいくつか提示されています。(1) から (14) に示すそれぞれのペアについて、A・Bどちらの職業に対してあなたはより「近い」と感じますか。(それぞれひとつだけ)

A		1. Aの方が近い	2.どちらかといえばAの方が近い	3.どちらとも言えない	4.どちらかといえばBの方が近い	5. Bの方が近い	B	
A-1. 警察官		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-1. 小学校教員	
A-2. 駐車場管理人		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-2. 道路工事作業員	
A-3. 紙製品の製造工		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-3. 受付窓口職員	
A-4. 小学校教員		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-4. 食品工場の作業員	
A-5. 習いごと教室の先生		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-5. 課長クラスの管理職	
A-6. 会社経営者		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-6. 駐車場管理人	
A-7. 美容師		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-7. 外回り営業職	
A		1. Aの方が近い	2.どちらかといえばAの方が近い	3.どちらとも言えない	4.どちらかといえばBの方が近い	5. Bの方が近い	B	
A-8. 受付窓口職員		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-8. 看護師	
A-9. 販売店員		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-9. タクシー運転手	
A-10. リハビリ医療職 (理学療法士、言語聴覚士など)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-10. 荷造り作業員	
A-11. 駐車場管理人		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-11. ウェイター・ウェイトレス	
A-12. 清掃員		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-12. 習いごと教室の先生	
A-13. 看護師		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-13. 情報処理技術者	
A-14. マンションの管理人		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-14. 高校教員	

次へ

Q3 必須 あなたのまわりに、以下のような職業の方はいらっしゃいますか。家族、親せき、親しい友人、近隣に住む人、仕事上のつきあい（職場の同僚、取引先の相手など）それぞれについて、あてはまるものすべてをお答えください。

※この設問は、それぞれ横方向 (→) にお答えください。

	1. いない	2. 家族の中にいる	3. 親せきの中にいる	4. 親しい友人の中にいる	5. 近所の人の中にいる	6. 仕事上のつきあいの中にいる
1. 医師や弁護士など専門的な知識をもった職業に従事する人 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 民間企業あるいは役所で管理職についている人 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 工場や建設・工事の現場で肉体力労働をしている人 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 商店や飲食店など、自営業を営んでいる人 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. パート・アルバイト・派遣社員など正規雇用以外の働き方をしている人 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 現在失業していて職を探している人 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

次へ

Q4 あなたのまわりに、以下のような方はいますか。
必須 それぞれについて、あてはまるものすべてをお答えください。
 (いくつでも)

- 1. 議員や行政（自治体）に対するつてがある人
- 2. クラシックのファンでコンサートによく行っている人
- 3. 絵画鑑賞が好きで美術館の展覧会などによく行っている人
- 4. 環境に配慮した製品や社会に配慮した製品（例、フェアトレード商品）の購入に積極的な人
- 5. あてはまるものはない

次へ

Q5 政府や世の中のあり方について、次のような意見があります。
必須 以下のA（左側）とB（右側）の意見があります。
 それぞれのうち、あなたのお考えに近いのどちらでしょうか。
 （それぞれひとつだけ）

A	1. Aの意見	2. どなかかりかたはAの意見	3. どなかかりかたはBの意見	4. どなかかりかたはBの意見	5. Bの意見	B
A-1. いま以上に税金を増やして、恵まれない人への福祉を充実させるべきだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-1. 福祉を充実させるための税金を、いま以上に増やさなくて良い
A-2. 理由はともかく生活に困っている人がいたら、政府が面倒をみるべきだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-2. 生活に困っている人でも、合理的な理由がなければ、政府が面倒をみる必要はない
A-3. すべての国民に必要な最低限の生活費を支給する政策（ベーシックインカム）を導入すべきだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-3. すでに生活保護の政策があるので、すべての国民に一律に支給する政策は必要ない
A-4. 失業した人に対しては、積極的に経済的な援助を行うべきだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-4. 失業した人に対しては、すみやかに働いてもらうような支援を行うべきだ
A-5. たとえ財政が苦しくても、年金や老人医療などの高齢者福祉にける予算は削るべきではない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-5. 財政が苦しいならば、年金や老人医療などの高齢者福祉にける予算を削ることはやむを得ない
A-6. 高い地位につくためのチャンスを、どのような人にも平等に与える政策を、積極的にすすめるべきだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-6. 高い地位につくためのチャンスは平等に与えられているので、あとは個人の努力に任せるべきだ
A-7. 個人の不注意で生じた問題でも、社会の人たちができるだけつくなうのが望ましい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	B-7. 個人の不注意で生じた問題を、社会の人たちがつくなう必要はない

次へ

Q6 社会の格差について、次のような意見があります。
必須 それぞれについて、あなたはどのように思いますか。

※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

	1. その通り	2. どなかかりかたはAの意見	3. どなかかりかたはBの意見	4. どなかかりかたはBの意見	5. その通り
1. 競争によってある程度の格差が生じても、社会の活力が増すことにつながる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 格差が大きくなると、治安が悪くなったり、人々が対立するなど、社会が不安定になる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

Q7 必須 異なる集団の間では意見が違ったり、対立している場合があります。日本の場合、次にあげるそれぞれの集団の間ではどうなっていると思いますか。

※この設問は、それぞれ横方向（⇒）にお答えください。

		1. とても強く対立している	2. ある程度強く対立している	3. あまり対立していない	4. まったく対立していない	5. わからない
						
1. 貧しい人と豊かな人	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 社会的地位の高い人と低い人	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 経営者と労働者	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 正規雇用の労働者と非正規雇用の労働者	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 男性の労働者と女性の労働者	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 大企業と中小企業	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

Q8 必須 次にあげる組織や職業について、あなたはどれくらい信頼していますか。

※この設問は、それぞれ横方向（⇒）にお答えください。

		1. とても信頼している	2. 少しは信頼している	3. どちらとも言えない	4. あまり信頼していない	5. まったく信頼していない
						
1. 中央官庁（〇〇省、〇〇庁など）	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 地方自治体（〇〇県庁、〇〇市役所など）	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 国会議員	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 市町村議会議員	⇒	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

Q9 必須 あなたは、他の人をどのくらい信用できると思いますか。次の意見のうち、あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。

- 1. ほとんどの人を信用できる
- 2. 自分と同じような立場や境遇（同じ地域、同じ仕事など）の人なら信用できる
- 3. 自分が知っている人なら信用できる
- 4. どのような人でも用心するにこしたことはない

次へ

Q10 必須 あなたは現在、20歳未満のお子さんと暮らしていますか。

- 1. はい
- 2. いいえ

次へ

Q11 必須 お子さんの性別は、どちらですか。

- 1.男子がいる
- 2.女子がいる
- 3.男子・女子ともいる

次へ

Q12 必須 以下の学校に通っているお子さんはいますか。
(いくつでも)

- 1.小学校
- 2.中学校
- 3.高校
- 4.専門学校
- 5.短大・高専
- 6.大学
- 7.学校に通っている子どもはいない

次へ

Q13 必須 小学生くらいの子どもの教育にあたって、以下のA・Bのどちらをより重視しますか。
※現在、小学生のお子さんがいない場合は、「もしいるとしたら」と仮定してお答えください。

A：世の中の常識やマナーを守り、他者と協調していくこと
B：自力で考えをめぐらし、目標を立てて物事をすすめていくこと

- 1.Aの方に重点を置く
- 2.どちらかと言えばAの方に重点を置く
- 3.どちらも同じくらい
- 4.どちらかと言えばBの方に重点を置く
- 5.Bの方に重点を置く

次へ

Q14 子どもが受ける教育について、次のような意見があります。
必須 それぞれについて、あなたはどのように思いますか。

※この設問は、それぞれ横方向 (→) にお答えください。



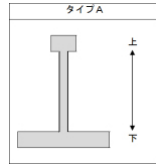
	1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらとも言いえない	4. どちらかといえばそう思わない	5. そう思わない
1. 子どもには、その後の人生で不利にならないよう、できるだけ高い学歴をつけさせることが重要だ	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 将来、社会を担う一員として、すべての子どもが同じような教育を受けることが望ましい	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 教育によってそれぞれの子どもの適した能力を伸ばし、それを仕事に生かすなどにより、社会に貢献することが望ましい	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 政府は、公教育にかかる予算をもっと増やして、公立学校での教育を充実させるべきだ	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 収入の少ない家庭の子どもが大学に通うことができるように、政府による経済的な援助を行うことが必要だ	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 日本語の読み書きが不自由な外国出身の子どもに対して、学校教育の場でもっと支援ができるよう、政府が積極的に取り組むべきだ	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 義務教育（小学校・中学校）の段階から、決められた公立校に通うのではなく、学校を選択できる方が良い	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 中学と高校を通した6年一貫の学校教育（中高一貫校）は、高い学力を身につけるためには良い環境である	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. 子どもは、男子校や女子校のような男女別学の学校に通うのではなく、男女共学の学校に通うのが望ましい	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

Q15 次の4つの図は、異なるタイプの社会を表わしています。
必須 現在の日本の社会はどのタイプに近いと思いますか。
 ※ [\[画像を拡大\]](#) をクリックしていただくと拡大してご覧いただけます。

タイプA：少数のエリートとそれ以外の多くの人々が分断していて、
 中間の層が少ない社会

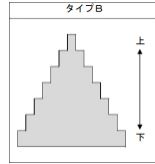
1.



[\[画像を拡大\]](#)

タイプB：少数のエリートを頂点とし、
 中間の層・下の層になるほど人口が多くなるピラミッドの形の社会

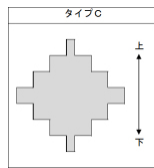
2.



[\[画像を拡大\]](#)

タイプC：多くの人が中間の層にいる社会

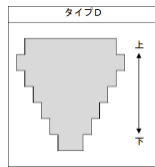
3.



[\[画像を拡大\]](#)

タイプD：多くの人が上の層にいて、
 下の層になるほど人口が少なくなる社会

4.



[\[画像を拡大\]](#)

5. わからない

[次へ](#)

Q16 仮に日本の社会全体を層に分けて、いちばん下を1、いちばん上を10とした場合、あなたはどの
必須 あたりにいると思いますか。

上

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

下

[次へ](#)

Q17 あなたは過去に仕事に就いていましたか。
必須 就いていた場合、それは何歳のときまででしたか。

1. 仕事に就いていた： 歳まで
2. いままで収入を伴う仕事に就いたことがない

次へ

Q18 ■ここから先は、あなたが最後に就いていたお仕事についてお伺いします■
必須 そのとき、あなたはどのような形で働いていましたか。

1. 自営業主
2. 家族従業員（家業としての自営業を手伝っている家族）
3. 会社・法人などの経営者・役員
4. 常時雇用の従業者（正社員・正職員）
5. パートタイム・アルバイト・臨時雇用・契約社員の従業者
6. 派遣社員
7. その他 具体的に：

次へ

Q19-1 ■ここから先はあなたのお勤め先についてお伺いします■
必須 あなたのお勤め先は、次のうちどれにあたりますか。

Q19-2 **必須** あなたのお勤め先は、次のうちどれにあたりますか。

1. 官公庁、役所
2. 公立の組織（国立・県立・市立の学校や病院など）
3. 民間の企業

次へ

Q20-1 **必須** あなたのお勤め先には、従業員は何人くらいいますか。
※従業員には、常時雇用（正社員・正職員）だけでなく、パートタイム・アルバイト、契約社員なども含みます。
※派遣社員の場合は、登録している派遣会社についてお答えください。

Q20-2 **必須** あなたのお勤め先には、従業員は何人くらいいましたか。
※従業員には、常時雇用（正社員・正職員）だけでなく、パートタイム・アルバイト、契約社員なども含みます。
※派遣社員の場合は、登録している派遣会社についてお答えください。

1. 従業員はいない（自分1人で働いている／働いていた）
2. 従業員は29人以下
3. 従業員は30～299人
4. 従業員は300～999人
5. 従業員は1,000人以上
6. わからない

次へ

Q21-1 あなたのお勤め先では、どのような事業を行っていますか。
必須 具体的な事業・業種を、以下の入力例を参考にして、その下のボックスに入力してください。

※複数の事業を行っている場合には、主要なものを1種類だけ入力してください。

事業の種類		入力の例（この通りでなくても構いません）
作物や天然資源を採取	→	農業、林業、漁業、鉱業
工事・据え付け	→	建設業、土木工事業、設備工事業
物品を製造・修理	→	〇〇の製造業（自動車製造、食品製造など）、印刷業、金属加工業、石油精製業、〇〇の整備・修理業（自動車整備など）
電気・ガス・水道などを供給	→	電気業、ガス業、水道業、熱供給業
人や荷物を輸送	→	鉄道、航空、宅配、倉庫、旅行、郵便業
商品を販売	→	〇〇の卸売業、〇〇の小売業
情報や通信に関わるサービス	→	電話・電気通信、放送、出版、新聞、インターネット・サービス業、ソフトウェア、情報処理
飲食・宿泊に関わるサービス	→	飲食店、ホテル、旅館、下宿
金融に関わるサービス	→	銀行、保険、不動産
専門的なサービス	→	設計事務所、法律事務所、会計・税理事務所、デザイン業、コンサルタント業、広告業、学校、学習塾、保育所、病院、介護事業
生活関連のサービス	→	クリーニング、理容・美容室、家事サービス、物品リース・レンタル、結婚式場、霊園、スポーツ施設、遊園地、趣味の遊技場、廃棄物処理
公的なサービス（官公庁）	→	省庁、県庁、市役所

Q21-2 あなたのお勤め先では、どのような事業を行っていましたか。
必須 具体的な事業・業種を、以下の入力例を参考にして、その下のボックスに入力してください。

※複数の事業を行っている場合には、主要なものを1種類だけ入力してください。

事業の種類		入力の例（この通りでなくても構いません）
作物や天然資源を採取	→	農業、林業、漁業、鉱業
工事・据え付け	→	建設業、土木工事業、設備工事業
物品を製造・修理	→	〇〇の製造業（自動車製造、食品製造など）、印刷業、金属加工業、石油精製業、〇〇の整備・修理業（自動車整備など）
電気・ガス・水道などを供給	→	電気業、ガス業、水道業、熱供給業
人や荷物を輸送	→	鉄道、航空、宅配、倉庫、旅行、郵便業
商品を販売	→	〇〇の卸売業、〇〇の小売業
情報や通信に関わるサービス	→	電話・電気通信、放送、出版、新聞、インターネット・サービス業、ソフトウェア、情報処理
飲食・宿泊に関わるサービス	→	飲食店、ホテル、旅館、下宿
金融に関わるサービス	→	銀行、保険、不動産
専門的なサービス	→	設計事務所、法律事務所、会計・税理事務所、デザイン業、コンサルタント業、広告業、学校、学習塾、保育所、病院、介護事業
生活関連のサービス	→	クリーニング、理容・美容室、家事サービス、物品リース・レンタル、結婚式場、霊園、スポーツ施設、遊園地、趣味の遊技場、廃棄物処理
公的なサービス（官公庁）	→	省庁、県庁、市役所

具体的に：

次へ

Q22-1 ■あなた自身のお仕事についてお伺いします■

必須

ふだん働く場所は、次のうちどれにあたりますか。

- 1.主に屋内（事務所・店・工場などの中）で働く
- 2.主に屋外で働く
- 3.屋内・屋外の両方で働く

次へ

Q22-2 ■あなた自身のお仕事についてお伺いします■

必須

あなたのふだん働いていた場所は、次のうちどれにあたりますか。

- 1.主に屋内（事務所・店・工場などの中）で働いていた
- 2.主に屋外で働いていた
- 3.屋内・屋外の両方で働いていた

次へ

Q23-1 あなたが行うお仕事に、以下の性質はそれぞれの程度あてはまりますか。

必須

※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

Q23-2 あなたが行っていたお仕事に、以下の性質はそれぞれの程度あてはまりますか。

必須

※この設問は、それぞれ横方向（→）にお答えください。

	1. かなりあてはまる	2. ある程度あてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
1. 人を相手にすることが多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 肉体的な労力を使うことが多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 頭脳的な労力を使うことが多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 自分の仕事の内容やペースを、自分で決めることができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

Q24-1 お仕事を行うにあたって、特定の資格や免許を必要としたり、望まれることはありますか。

必須

- 1.特定の資格や免許が必要とされる
- 2.特定の資格や免許がなくても良いが、持つことが望まれる
- 3.資格や免許はとくに必要とされない

次へ

Q24-2 お仕事を行うにあたって、特定の資格や免許を必要としたり、望まれたことはありますか。

必須

- 1.特定の資格や免許が必要とされた
- 2.特定の資格や免許がなくても良いが、持つことが望まれた
- 3.資格や免許はとくに必要とされなかった

次へ

Q25 前問で「{Q24-1 回答(文)}{Q24-2 回答(文)}」と回答されましたが、具体的に、どのような資格・免許ですか。
必須

次へ

Q26 あなたのお仕事の内容を、以下の入力例を参考にして、その下のボックスに入力してください。
必須 ※複数の仕事を行っている場合には、主要なものを1種類だけ入力してください。
(自由回答)

仕事の種類		入力の例 (この通りでなくても構いません)
農林漁業	→	農業、林業、漁業
建設・土木職	→	大工、とび、左官、道路工事、電気工事、探掘
生産工程	→	〇〇の製造 (自動車組立、食品製造など)、印刷、金属加工、 〇〇の検査・整備・修理 (製品検査、自動車整備など)
輸送・機械運転	→	〇〇の運転 (鉄道、タクシー、トラックなど)、パイロット、 車掌、クレーンの運転・操作、ボイラーの操作、発電装置の操作
運搬・包装・清掃	→	郵便・宅配配達、倉庫作業、荷造り・包装作業、清掃員
サービス職	→	訪問介護、理容師・美容師、クリーニング職、料理人・コック、 飲食の給仕 (ウェ이터など)、接客員、旅館・ホテル従業員、 アパート・駐車場などの管理人、旅行ガイド
保安職	→	警察官、自衛官、消防員、警備員
販売・営業職	→	販売店員、小売店の店主、〇〇商品の営業、保険の外交員、不動産仲介
事務職	→	一般事務、人事、総務、経理、受付窓口、パソコン入力
管理職	→	議員、経営者・役員、駅長、支店長
資格専門職	→	医師、看護師、薬剤師、保育士、ケアマネジャー、弁護士、公認会計士、幼稚園・〇〇学校の教員 (小学校～大学)、図書館司書、カウンセラー
技術的専門職	→	研究者、技術者 (エンジニア)、通信士
文化的専門職	→	作家、記者・編集者、芸術家、デザイナー、宗教家 (僧侶・牧師など)、プロスポーツ選手

具体的に:

次へ

Q27-1 あなたのお仕事は、男性・女性のどちらに向いていると思いますか。
必須

Q27-2 あなたのお仕事は、男性・女性のどちらに向いていたと思いますか。
必須

- 1.男性に向けた仕事である
- 2.どちらかといえば男性に向けた仕事である
- 3.どちらかといえば女性に向けた仕事である
- 4.女性に向けた仕事である
- 5.どちらか一方の性別に向いているとは思わない

次へ

Q28-1 なぜ男性に向いている、あるいは女性に向いているとお考えでしょうか。
必須 その理由について、以下の空欄に簡単にお答えください。
(最大3つまで)

Q28-2 なぜ男性に向いていた、あるいは女性に向いていたとお考えでしょうか。
必須 その理由について、以下の空欄に簡単にお答えください。
(最大3つまで)

次へ

Q29-1
必須 あなたは、何かの役職に就いていますか。

- 1. 役職には就いていない
- 2. 監督、職長、班長クラスの役職
- 3. 係長、主任クラスの役職
- 4. 課長クラスの役職
- 5. 部長クラスの役職
- 6. その他の役職 具体的に：

次へ

Q29-2
必須 あなたは、何かの役職に就いていましたか。

- 1. 役職には就いていなかった
- 2. 監督、職長、班長クラスの役職
- 3. 係長、主任クラスの役職
- 4. 課長クラスの役職
- 5. 部長クラスの役職
- 6. その他の役職 具体的に：

次へ

Q30
必須 あなたは現在の仕事にどの程度満足していますか。

- 1. 非常に満足
- 2. 満足
- 3. どちらとも言えない
- 4. 不満
- 5. 非常に不満

次へ

Q31
必須 あなたは今まで失業した経験がありますか。
ここでの「失業」とは、働きたいけど仕事が見つからない状態を指します。

- 1. ある（現在失業中の場合も含みます）
- 2. ない

次へ

Q32 失業していた期間は、最長でどのくらいの期間ですか。
必須

- 最長で3ヶ月未満
- 3ヶ月から6ヶ月未満
- 6ヶ月以上

次へ

Q33 昨年1年間のあなた個人の収入はどのくらいですか。
必須 税金を差し引く前の収入でお答えください。

※株式配当・不動産収入、臨時収入・副収入などもすべて含めてください。

- 150万円未満
- 150～300万円未満
- 300～450万円未満
- 450～600万円未満
- 600～750万円未満
- 750～900万円未満
- 900～1,200万円未満
- 1,200～1,500万円未満
- 1,500万円以上
- わからない

次へ

Q34 あなたには現在、配偶者（夫または妻）はいらっしゃいますか。
必須 また、いらっしゃる場合、配偶者の方は収入を伴う仕事に就いていますか。

※配偶者には、事実婚や内縁関係の相手も含みます。

- 1.配偶者はいない
- 2.配偶者は仕事に就いている（有職）
- 3.配偶者は仕事に就いていない（無職、家事に専念など）

次へ

Q35 あなたの配偶者は現在、どのような形で働いていますか。
必須 お仕事を2つ以上お持ちの場合は、主な仕事を1つだけ思い浮かべてください。

- 1.自営業主
- 2.家族従業員（家業としての自営業を手伝っている家族）
- 3.会社・法人などの経営者・役員
- 4.常時雇用の従業者（正社員・正職員）
- 5.パートタイム・アルバイト・臨時雇用・契約社員の従業者
- 6.派遣社員
- 7.その他 具体的に：

次へ

Q36 あなたの配偶者のお勤め先は、次のうちどれにあたりますか。
必須

- 1.官公庁、役所
- 2.公立の組織（国立・県立・市立の学校や病院など）
- 3.民間の企業

次へ

Q37 あなたの配偶者のお勤め先には、従業員は何人くらいいますか。
必須
 ※従業員には、常時雇用（正社員・正職員）だけでなく、パートタイム・アルバイト、契約社員なども含まれます。
 ※派遣社員の場合は、登録している派遣会社についてお答えください。

- 1.従業員はいない（1人で働いている）
- 2.従業員は29人以下
- 3.従業員は30～299人
- 4.従業員は300～999人
- 5.従業員は1,000人以上
- 6.わからない

次へ

Q38 あなたの配偶者のお勤め先では、どのような事業を行っていますか。
必須 具体的な事業・業種を、以下の入力例を参考にして、その下のボックスに入力してください。
 ※複数の事業を行っている場合には、主要なものを1種類だけ入力してください。

事業の種類		入力の例（この通りでなくても構いません）
作物や天然資源を採取	→	農業、林業、漁業、鉱業
工事・据え付け	→	建設業、土木工事業、設備工事業
物品を製造・修理	→	〇〇の製造業（自動車製造、食品製造など）、印刷業、金属加工業、石油精製業、〇〇の整備・修理業（自動車整備など）
電気・ガス・水道などを供給	→	電気業、ガス業、水道業、熱供給業
人や荷物を輸送	→	鉄道、航空、宅配、倉庫、旅行、郵便業
商品を販売	→	〇〇の卸売業、〇〇の小売業
情報や通信に関わるサービス	→	電話・電気通信、放送、出版、新聞、インターネット・サービス業、ソフトウェア、情報処理
飲食・宿泊に関わるサービス	→	飲食店、ホテル、旅館、下宿
金融に関わるサービス	→	銀行、保険、不動産
専門的なサービス	→	会計事務所、法律事務所、会計・税理事務所、デザイン業、コンサルタント業、広告業、学校、学習塾、保育所、病院、介護事業
生活関連のサービス	→	クリーニング、理容・美容室、家事サービス、物品リース・レンタル、結婚式場、霊園、スポーツ施設、遊園地、趣味の遊技場、廃棄物処理
公的なサービス（官公庁）	→	省庁、県庁、市役所

具体的に：

次へ

Q39 必須 あなたの配偶者のお仕事の内容を、以下の入力例を参考にして、その下のボックスに入力してください。

※複数の仕事を行っている場合には、主要なものを1種類だけ入力してください。

仕事の種類		入力例（この通りでなくても構いません）
農林漁業	→	農業、林業、漁業
建設・土木職	→	大工、とび、左官、道路工事、電気工事、採掘
生産工程	→	〇〇の製造（自動車組立、食品製造など）、印刷、金属加工、 〇〇の検査・整備・修理（製品検査、自動車整備など）
輸送・機械運転	→	〇〇の運転（鉄道、タクシー、トラックなど）、パイロット、 車掌、クレーンの運転・操作、ボイラーの操作、発電装置の操作
運搬・包装・清掃	→	郵便・宅配配達、倉庫作業、荷造り・包装作業、清掃員
サービス職	→	訪問介護、理容師・美容師、クリーニング職、料理人・コック、 飲食の給仕（ウェ이터など）、接客員、旅館・ホテル従業員、 アパート・駐車場などの管理人、旅行ガイド
保安職	→	警察官、自衛官、消防員、警備員
販売・営業職	→	販売店員、小売店の店主、〇〇商品の営業、保険の外交員、不動産仲介
事務職	→	一般事務、人事、総務、経理、受付窓口、パソコン入力
管理職	→	議員、経営者・役員、駅長、支店長
資格専門職	→	医師、看護師、薬剤師、保育士、ケアマネジャー、弁護士、公認会計士、幼稚園・〇〇学校の教員（小学校～大学）、図書館司書、カウンセラー
技術的専門職	→	研究者、技術者（エンジニア）、通信士
文化的専門職	→	作家、記者・編集者、芸術家、デザイナー、宗教家（僧侶・牧師など）、プロスポーツ選手

具体的に：

次へ

Q40 必須 あなたの配偶者は、何かの役職に就いていますか。

1. 役職には就いていない
2. 監督、職長、班長クラスの役職
3. 係長、主任クラスの役職
4. 課長クラスの役職
5. 部長クラスの役職
6. その他の役職 具体的に：

次へ

Q41 必須 昨年1年間のあなたのお宅（生計を共にしている家族）の収入は、あなたの収入を含めてどのくらいですか。税金を差し引く前の収入でお答えください。

※株式配当・不動産収入、臨時収入・副収入などもすべて含めてください。
※以下に示す選択肢は、先にお答えいただいたQ33（あなた個人の収入）と同じ額あるいはそれ以上のものだけを表示しています。

- 150万円未満
- 150～300万円未満
- 300～450万円未満
- 450～600万円未満
- 600～750万円未満
- 750～900万円未満
- 900～1,200万円未満
- 1,200～1,500万円未満
- 1,500万円以上
- わからない

次へ

Q42 あなたが現在お住いの市区町村は、次のどれにあたりますか。
必須

- 1.大都市圏の中心都市（東京23区、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、名古屋市、大阪市、京都市、神戸市）
- 2.1以外の政令指定都市（札幌市、仙台市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、堺市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市）
- 3.上記1・2以外の県庁所在地
- 4.上記1～3以外の市部
- 5.郡部（町・村）
- 6.どれにあたるかわからない 市町村名：

次へ

Q43 あなたの世帯には、何人の方がいらっしゃいますか。
必須 生計をともにしている人数をお答えください。
※単身赴任や下宿などにより、一時的に離れて暮らしている場合でも、生計をともにしていれば、その方も含めてください。

- 1.自分ひとりのみ
- 2.（自分を含めて）人

次へ

Q44 あなたの世帯に含まれる方は、次のうちどなたでしょうか。
必須 あてはまる方すべてをお答えください。
（いくつでも）

- 1.配偶者（夫または妻）※事実婚や内縁関係も含む
- 2.自分の親
- 3.配偶者の親
- 4.祖父母
- 5.兄弟姉妹
- 6.子ども
- 7.孫
- 8.その他の親族
- 9.親族以外の人

次へ

Q45 あなたのお宅では、次にあげるものうちどれをお持ちですか。
必須 あてはまるものすべてをお答えください。
（いくつでも）

- 1.持ち家
- 2.土地
- 3.ピアノ
- 4.文学全集・図鑑
- 5.美術品・骨董品
- 6.株券・債権
- 7.乗用車
- 8.どれも持っていない

次へ

必須 アンケートは以上となります。
ご希望の方には、後日、ご回答いただいたアンケートの結果をまとめた調査レポートを配信する予定です。

こちらのレポートの配信をご希望される方は「配信を希望する」をお選びください。

- 1. 配信を希望する
- 2. 配信を希望しない

次へ

アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。

【生活スタイルと社会意識に関するアンケート】の獲得ポイント

〇〇ポイント

閉じる

 あなたの中有に未来がある。
一般社団法人 日本マーケティングリサーチ協会
Z会 No. 20188